					事務事	工業マネジ	メントシー	 	(令和6	6年度実施	分)							
	事訓	ユニバーサル都ī 業名	市・福岡の	推進						きっかけ)は何			. =1 1 -> 124 .	h 1	1 - 60 11 - 6			
						用軟如人志細									値観やライフス			
		管局 総務企画局		所管課	企画記	周整部企画課	景	100	3767 3005)) () // // // () ·	240 60 9	0						
		法令 ─	行政計画	新			-											
-		<u> </u>	ווה אונו ו	a —														
<u> </u>	_	₹M.安』 (何)を対象として行うの <i>t</i>	1\			会和6年度 ₺	か年度の改善	七华	た外士ラ	日的法式厂点	 	どの トラナン	どのとうな		に車業を目店			
 対	ь.	民、地域、企業、学校など					6年度、前年度の改善方策を踏まえ、目的達成に向けて主にどのような 成成し(終了)するのか 果しい(終了)するのか											
					施	情報誌に「ユニノ		岡」0	の特集記事を	掲載。冊子やデジ:	タルブックに。				なにやさしい			
					内 ——— 容	を実施 ・「ュニバーサル都	を 見「ユニバーサル都市・福岡」の実現を											
	対	象をどのような状態にした	:いのか		<u>+</u>	イベントを実施							直目指し、継	続して事業を	実施していく。			
事		民等が、ユニバーサルデ				ル、書籍、文具等	ースへのユニバー の展示						判					
業		思いやりを持ち、すべての)人にやさし	」いまちになっ		・ユニバーサルデ ウェブサイトやSN	バーサルデザインの理念や取組みについて学ぶ市民参加型ワークショップを実施し、情報											
且	る。				段	·福岡市公式SNS	ジアカウントによるす			•			基					
的							・サルマナー検定の 战員研修(eラーニ)			員)の実施			準					
Ļ	Ļ					・「ユニバーサル												
	ジ	ックモデル・指標の資				رر والمراجع المراجع ا				@ 	L1			○■ 約→1 1↓	,			
		①活動7ウトフ (どんな活動を行				結果アウトプット 結果、どうなる	のか)		(70	③中間7 の結果、対象は		のか)		④最終アウトカ 、市としてど [・]				
	○民間のノウハウを用いた普及啓発活動 ○市民等がユニバーサル都市・福岡を理解する								る ○行政だけでなく、市民・地域、企業、学校などがユニ \ ○みんながやさしい、みんなにやさしい「ユニバー									
		NSなどで市や企業・団体の取約 N学生用の副読本の改訂・Web		の実施	学生がユニバー i職員がユニバー	サルデザインにつ サルデザインにつ	いて学ぶ いて理解し 業務	IB	バーサルデー的な取組みる		ついて十分に	理解し、具体	ル都市・福岡」が 力が向上する。	実現し、市民の生	E活の質や市の魅			
		万職員向け研修の実施 「職員向け研修の実施	ю (ш п п п т		り入れる	,,,,,,	· (-1/1-0(x-1/1	7	H J. O. HVIII C. J. C.	211200)1% I-1± / U ₀					
		指標の内容		実	績	目	標			の内容		実	績	E]標			
ロジッ		※②結果アウトプットに対応した 指標を設定	年度	R5年度	R6年度	R7年度		成		汁カムに対応した 票を設定	年度	R5年度	R6年度	R7年度	最終年度			
ック		ユニバーサル都市・福	目標	1,000	1,000		R 年度	果	> _	⊥ 	目標	_	70.0		R6年度			
ŧ	活	岡のロゴマークの掲出 箇所数	実績	7,461	7,566	_	_		の概念の	ナルデザイン 理解度	実績	53.7	64.0	_	70.0			
デ	動	固阶釵	達成率	746.1%	756.6%			標			達成率	_	91.4%					
]	の指		目標				R 年度	$\overline{}$	┃ ┃ユニバー⁺	ナルデザイン ナルデザイン	目標		65.0		R6年度			
	標		実績					K	の取組み		実績 達成率	52.9	47.9	_	65.0			
			達成率 目標					1										
							ID年申I		- "				73.7%		D6年度			
							R 年度	 -		サル都市・福マークの認知	目標	46.5	65.0		R6年度			
			実績				R 年度	 -		サル都市・福 マークの認知	目標実績	46.5	65.0 54.5	_	R6年度 65.0			
			実績達成率	計画/政架推送	⊧ → ニヽ. \		R 年度	<u> </u>	岡」のロゴ		目標	_	65.0 54.5 83.8%	_				
	± **	-	実績 達成率 基本	計画(政策推進		ザインの概念の)	岡」のロゴ	マークの認知	目標 実績 達成率	事業費(千円)	65.0 54.5 83.8%	_				
Į	事業		実績 達成率 基本	ユニ 施 (20		ザインの概念 <i>の</i>)	岡」のロゴ	マークの認知 令和6年度決	目標 実績 達成率	事業費(千円)	65.0 54.5 83.8%	0.956				
		主 1	実績 達成率 基本	ユニ 施 (20 策	ニバーサルデ ⁺ 24年度:70%))理解度	-)	岡」のロゴ	マークの認知 令和6年度決 歳出	目標 実績 達成率	事業費(千円)	65.0 54.5 83.8%	9,856				
が	地策 :	ュード <u>主 1</u> 再 —	実績 達成率 基本 点 -1-1	施 (20 策 成 ユニ	ニバーサルデ+ 24年度∶70%∫ ニバーサルデ+) ザインの取組み)理解度)	岡」のロゴ	マークの認知 令和6年度決 歳 様	目標 実績 達成率 算額(見込 財源	事業費(千円)	65.0 54.5 83.8%	0				
が	*野?	主 1 再 - 引目標 -	実績 達成率 基本 点 -1-1	施 (20 版 (20 ま ルでいる 果 (20	ニバーサルデ ⁺ 24年度:70%) ザインの取組み)理解度)	度	マークの認知 令和6年度決 歳出 歳 特定 一般	目標 実績 達成率 算額(見込 財源 財源	事業費(千円)	65.0 54.5 83.8%	9,856 0 9,856				
が	野児施	主	実績 達成率 基本 点 -1-1	加(20 施(20 策 成ユニ いている 果(20 まちづくり	ニバーサルデ+ 24年度∶70%∫ ニバーサルデ+) ザインの取組み)理解度		度	マークの認知 令和6年度決 歳 特定 入 一般 前年度決算都	目標 実績 達成率 算額(見込 財源 財源	— 事業費(千円) 額) 予算額	65.0 54.5 83.8%	0 9,856				
が	野児施	主 1 再 - 引目標 -	実績 達成率 基本 点 -1-1	施 (20 策成 ユニ いている 果 (20 非 括づくり 推 標	ニバーサルデ† 24年度: 70% ニバーサルデ† 24年度: 65%) ザインの取組み)理解度	-)	度	マークの認知 令和6年度決 歳出 歳 特定 入 一般 前年度決算額	目標 実成率 算額(見込 財源 財源 ・翌年度・1	— 事業費(千円) 類) 予算額 R5	65.0 54.5 83.8%	9,856 7				
分	·野兄 施 事	主	実績 達成率 基本 点 -1-1	施 (20 策成 果 (20 まちづくり 推進 行政運営プラ	ニバーサルデ+ 24年度: 70% ニバーサルデ+ 24年度: 65%) ザインの取組み)理解度		度	マークの認知 令和6年度決 歳上 歳上 一般 年度決算額	目標 実績 達成率 算額(見込 財源 財源 財源	— 事業費(千円) 類) 予算額 R5	65.0 54.5 83.8%	0 9,856				
分	野施事	主	実績 達成率 基本 点 -1-1 の理念による。 市・福岡の	施 (20 策 ルている 果 (20 括 推進 行政運営プラ 寄り添うサービ	ニバーサルデ+ 24年度: 70% ニバーサルデ+ 24年度: 65%) ザインの取組み)理解度	-)	度	マークの認知 令和6年度決 歳出 歳 特定 入 一般 前年度決算額	目標 実成率 算額(見込 財源 ・翌年度・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ー 事業費(千円) 類 予算額 R5	65.0 54.5 83.8%	9,856 7				

					事務事	事業マネジ	メントシー	- -	(令和(6年度実施	分)				
	事業名	農山漁村地域なる	ビ市街化調]整区域の活性	化					きっかけ)は何					
		40.75 A T. D			1		— 農山流 — 農山流	魚村	す地域など↑ 『た怨割を#	5街化調整区域	は、自然	とまちの調和がと P高齢化の進展等	:れたコンパ:	クトな都市を形	成するうえで
	所管局	総務企画局		所管課	企画調整	部企画課	景 ^{へ変き}	里 亥)維:	さななぎをな 持など様々	せつているか、プ な課題を抱えて	ており、活り	生化の取組みが	FIこけい、辰 込要となって	M小性未の扱 いる。	典ペコミユー
	拠法令		/- TL=1 =	e I 4-	= 	+ = 1	' ' "	т.	,, o. <u> </u>					5 0 0	
	開始年度 第二十四日	▼成27年度	行政計画	山	圖市第9次基	基本計 画									
	業概要	₹』 そ対象として行うのか	<u> </u>			A100 = = =	* <i></i>	^	** + n+ + =			1001.74	100 1.74		\ = # + D =
		対象として行うのかけ地域など市街化調				令和6年度、 方法で何を行		万	策を 踏ま え	目的達成に向	けて王に	とのよっな	とのような と(終了)で	状態になった ナスのか	り 事業を見追
対象	及山灬		正色《		実) うまちづくり活	動 (カ支接					を活かした新た	-かビジネス
					施内					けた具体的な流	5動(産直	市など)の 📗 🖊	が生まれる	ること等により	、農林水産
	対象をど	のような状態にした	いのか		容	支援を行った		;					業・観光業	きなどの地域産	とがの とがの とがの ともなり となる とがの ともなり ともなり ともなり ともなり ともなり ともなり ともなり ともなり
	•地域に	おいて活性化に向け		な取組みが進	めら		き家・空き地等の発掘 引事業者の進出先となる空き家・空き地の発掘を目的として、志賀島・北 しれ、地域の活性化によ								
_	れている		· 〒 明 /	いっ ま 巻***	事業	14 - 11 11 1+ 41	件情報の収集・整理及び事業者ヒアリングを行った。								
業目		村地域でのビジネス 案などが行われてい		いて、争耒有刀		③事業者への				いて情報提供	<i>士</i> 、仁 、 F	2 世界 本 中 田 5	態。		
的	的・地域住民と事業者のネットワークが生まれ、事業化に向の需要喚起を行った。									プレ・ ()	21101		Ē		
	けたマッ	チングが行われてし	いる。			④地域と事業	者のマッチン						-		
	- >		<u> </u>			進出意同の	ある事業者と	地	域の対話の	場を設定した。					
삼	シックー	<u>Eデル・指標の遺</u> ① 活動7 ウトプ			<u> </u>	結果アウトプット				③中間7	<u> ተ</u>			小具数7 点点	
		(どんな活動を行				相来ババババ			(そ	の結果、対象は		のか)			
		体のまちづくり活動		•地	域住民の活性	生化に向けた意	意欲が向上す		地域にお	いて活性化に向		な取組みが・	地域資源を	舌かした新たな	ょビジネスが
		・空き地等の発掘 へのヒアリング(進b	11辛白生)	る。 - 典	山海牡地北北	- 関心を示す事	*************************************	41	進められて・地域の空	いる。 き地・空き家の情	野が随時:				
		************************************			出版が地域に		未行守の進		·農山漁村	地域でのビジネス	ス展開につ	いて、事業			
			業者からの対	象地域への関				∃談・提案などが? と事業者のネット		ි	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・				
ロジッ			域任氏と事業	者が繋がる機	会が生まれ	17		マッチングが行							
 ク		指標の内容				В	 標	成				実績	i	F	標
クモデ	※2 *	吉果アウトプットに対応した 指標を設定	 年度	R5年度	R 6年 度	R 7年度	最終年度	果	` +E-	ウトカムに対応した 標を設定	年度	R5年度	•	-	最終年度
アル	活	THIN CLAR	目標	10.0	10.0		R 年度	上が			目標	2.0	2.0		R 年度
		において実施され	実績	15.0	11.0	10.0		一楞		業者のマッチ	実績	2.0	2.0	2.0	
	の る会1 指	合等への参加件数	達成率	150.0%	110.0%		_		20	が支援数	達成率	100.0%	100.0%		_
	標		目標	30.0	30.0		R 年度				目標	1.0	1.0		R 年度
	事業	者ヒアリング等の 実施	実績	20.0	17.0	30.0		T۲		による施設立 請の件数	実績	2.0	0.0	1.0	
		文 心	達成率	66.7%	56.7%		_		地中	明り 一致	達成率	200.0%	0.0%		
			基本	計画(政策推進	プラン)							事業費(千円)			_
耳	業区分	重	 点							令和6年度決	算額(見込				
	· /-/-	主 4	-4-3	施 ————————————————————————————————————						歳出	1			7,920	
州	策コード	再一		成						歳特定	財源			0	
分	野別目標	人と地球にやさしい、持続可能	能な都市が構築さ	れている						入一般	財源			7,920	
	施策	まちと自然が調和した福岡型	型のコンパクトな	が 持 標						前年度決算額	望年度	予算額			
	事業群	豊かな自然を活かした市行	街化調整区域の							年度	Ę	R5	R	.7	
	行政運営プラン									歳出	1	9,95	0	50,000	
耳	双組方針									歳特定	財源		0	20,000	
拊	進進項目 —									入一般	財源	9,95	0	30,000	

						事務導	事業マネジ	ジメントシー	<u> </u>	(令和6	6年度実施	分)				
	事業名	名都心	のまちづくり	の推進							きっかけ)は何か					
			<u> </u>				<u></u>	— │	ΛŢ.	部の更なる	賑わい創出や	魅力向上	をおこなう必要	性があったため)。	
	所管局		企画局		所管課	企画調整	部企画課	一 十 十 十 十 十 十								
	根拠法 開始年		 17年度	◇二元七三 上元	ਜ਼ ਿ											
_	^{刑妇平} 事業根		1/年度	行政計画	i —											
			:して行うのか	ή \			今和6年度 1	 前年度の改善力	- 4	た财士ラ	日的達成に向	ルア主に し	シのトラナン	ビのトうた		ら事業を見直
44	都心		.0 (1) 707/3				方法で何を行		7 來	で始まん、	日的连队に向	1) C±1=2	- V) み ') 'A			り争未で兄旦
象						施		専多地区におい	て	、地域·企業	 美などが会員と	なっている	エリアマネ	宋		が自力で十分
						内	ジメント団体(〔天神地区∶We	Lov	re 天神協議	養会、博多地区	:博多まち	づくり推進	■な自主財活		准保できるよう
	対象	をどのよう	な状態にした	こいのか		容		共働により、魅: 化、防犯・防災:						な状態。		
事					佐性の向上、美	事	の向上 課題	解決などに取り				〜 Ċ 1 / U ' 后'	」山で座り	し 判		
業	京観	の形成や多	全・安心の!	空間を創出	する。	業手	01/21/2017/201	こ運用を開始し						断		
目的						rn.	出が可能な 賑わいを創出	ほこみち制度」を	を常	記さイベン	ト時合わせて5	件活用し、	都心部の	基		
RJ							別以170・6 后14	10/20						準		
Ļ																
1	コ <u>ジッ</u>		・指標の達				<u>♪+ □□ □</u> - <u>↓</u> □°			ı	@± = =	111		ı		
			①活動7ウトフ な活動を行				結果アウトプット 結果、どうなる			(7)	③中間7 の結果、対象に		<u>ስ</u> ሐነ		④最終アウトカム !、市としてどう	
	エリ		ント団体に負		出する			る、まちづく	\		心部の価値も				の価値や魅力	
			マネジメント	団体のまち				安全安心・環	ı	アマネジ	メント団体(会	員企業)	の運営の	け、福岡市全	体の競争力、	集客力を牽引
	争業 	に対し支援	を行う。			向上活動が過		4-6	L		Y循環が生まれる			する。		
						ミた、エリアマ が拡大する。	イジメント団	体の目王財	1		ҟの活動が活 活動を行える					
ロジッ					/ ////	が扱入りる。			,	こ多様な	/13世11人の	みりにな	ට) ං			
ツク				 績	E] 標	成	指標	の内容		集	績	E]標		
クモデ	*		プットに対応した と設定	年度	年度 R5年度 R6年		R 7年 度	最終年度	果		ウトカムに対応した 票を設定	年度	R5年度	R6年度	R 7年度	最終年度
デ				目標	2.0	2.0			指	1	部は賑わいが	目標	80.0			R10年度
			メント団体	実績	2.0	2.0	2.0		標	あり訪れだ	とくなる魅力が	実績	79.0		82.0	
	の 数 指	X		達成率	100.0%	100.0%		同左		めると感し 合	る市民の割	達成率	98.8%	97.6%		同左
	標			目標				R 年度	K			目標				R 年度
				実績					۱ ا			実績				
				達成率					Ċ			達成率				
				基本	計画(政策推過	 ぱプラン)							事業費(千円)			
:	事業区	分									令和6年度決	算額(見込				
		÷		4-6-2	施						歳出				24,044	
方	を策コ-	ード 二 	_		——— 策 成							· !財源			4,100	
子	野別		ぱにやさしい、持続可		まれている						~~	対源			19,944	
73	施策		の活用による地								前年度決算額				,	
		事業群 エリアマネジメントの推進									年度		R5	R	7	
	, ,,,,,				行政運営プラ	シン				1	歳出			180	24,180	
7	取組方	計								1		- !財源		600	9,600	
		進項目 一								4	~~	対源	14,		14,580	

					事務事	事業マネジ.	メントシ	<u>-</u>	(令和6	6年度実施	(分)				
	事業名	産学官民連携に	よる国際競	争力強化			_			きっかけ)は何:					
	• • • • •					÷n A ====	── 	アジアで	と日本の玄原	関口であり、暮り 客成長が音混っ	らしの質 <i>の</i> まる目:ス <i>a</i>)高さが世界から みがある。今後、	が評価されてし 福岡の活力:	ハる福岡である を維持強化して	が、今後は人
	所管局			所管課	企画調整	部企画課	景 は、	減シる 、産学	官民が一体	にとなって、国際	競争力を	アスパめる。 ヲ 仮、 高め、地域経済	をグローバル	と心がることで、	アジアの内
_	根拠法令		グニ エレニ L で	. 「海四士等	つか甘木計画					とが必要であ					
	開始年月 東 幽 振		行政計画	個叫巾弟	9次基本計画										
L-	事業概	<u>安』</u>)を対象として行うのか	`			△和6左曲 ⇒	かた中のか	· 羊 十 :	ケナ味ナニ	口的法式与广	リナナナー	にの トンナン	io kat	、小下 告告 / 一 チン ニ チュ	こ声楽を目声
対	1) •		実	令和6年度、前 方法で何を行		(晋力)	束を踏まえ、	日的達成に向	けて土に	とのような	成 し(終了)・	な状態になった するのか	り争果を兄旦
象		, II , IEI			施			くため	の産学官連	携組織である	「福岡地均	【戦略推進	福岡都市	おおおり おおり おまた おまま かままた ままま かまま かままま ままま ままま ままま まままま ま	争力を備えた
					内	協議会」に負担	旦金を支出	し、地	域の成長を	実現する質の	高いプロシ	ジェクトの	見アジアで最	長も持続可能な	地域となる。
	対象を	どのような状態にした	いのか		—— 容	検討経費、コンタサンドのま						7ムの開催	直		
車	•福岡均	地域戦略推進協議会	(FDC)にお		民が事	在負などの文				:正会員として参 等:34.700千円			し 判		
業		なって策定した「地域			民が ⇒力を 業力を			·		. ,	,		断		
目		アジアで最も持続可能	旧は地場と	はつている。	段								基		
的													準		
		4													
	コジック	7モデル・指標の選								@±===	1 1				
		①活動アウトプ (どんな活動を行				結果アウトプット 結果、どうなる(<i>ው</i> ታላ)		(7)	③中間7 の結果、対象は		<i>π</i> ₄ ν)		④最終アウトカム {、市としてどう	
	■ - 福岡♭	也域戦略推進協議会		地域 1・部		ジェクトが創出さ				ロジェクトが構					ごジネスハブと
	戦略を	推進するために、3つ	の部会を「			そへの共有が図			より、域内	外から人と投		込まれ、戦	して、日本・中	国・韓国・台湾	質などのビジネ
		ロジェクト等の構築を行 ノトや情報発信を通じ ⁻		η # 					略の目標	が達成される。				:なり、多様な丿 国際競争力を	
		ながら戦略を推進して		の共有										歯味焼ずりで	
 					- 1'										
ック		指標の内容			 績	目:		月	大 指標	票の内容		実統		E	 標
Æ		②結果アウトプットに対応した 指標を設定	年度	<u>^</u> R5年度	R6年度			——] 月	2 ※3中間7	ウトカムに対応した 漂を設定	年度	R5年度	" R6年度	R 7年 度	最終年度
デ	活 ※F	DCの取組みは民主導	目標	——————————————————————————————————————	- NO-FIX	117 - 12	最終年月 R 年度	U	/	REDE R組みは民主導	目標	——————————————————————————————————————		117-12	R 年度
]	動であ	ることから、各年の目	実績		_	l _ l	12	·	こ であること	から、各年の目	実績			_	112
	の 標数 指 難	数値を設定するのは困	達成率		_		_		* 標数値を影 難	定するのは困	達成率	_		=	_
	標		目標				R 年度	Ę K			目標				R 年度
			実績								実績				11 1.02
			達成率								達成率			-	
	<u>'</u>		基本	計画(政策推過	単プラン)							事業費(千円)			•
- 2	事業区分	重	-		=					 令和6年度決	質額(見り				
	T		-1-1	施						歳出		2 USC /		35,000	
扩	施策コー	· F — — — — — — — — — — — — — — — — — —								歳特定				00,000	
4	野別目			─ ─~~~~~							財源			35,000	
	施策	産学官連携による、知		指						前年度決算額				00,000	
	・ 本業群 知識創造型産業の振興 標									年度		R5		27	
	ナポイナ	/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /	- / J/X 77		;`,				-	歳出		35,0		35,000	
T	取組方金	ナークめくもり 多様だ	ニーズに2						-			55,0		00,000	
	性進項目				~ \				1	1/92	財源	25 N		35,000	
-	取組方針				スの提供				4	歳			0	0	
3	性進垻	3 他の氏や正素など	ことの共割	"建捞						┃ 八 一般	財 源	35,0	UU	35,000	

					事務事	事業マネジ				6年度実施									
	事業名	グローバル人材	育成•留学生	E支援事業						きっかけ)は何か	-								
												域やわが国をす							
	所管局			所管課	多文化共	生課		、M · 憂秀	、のついははない。	エタ国と領両と の本市への集和	この倘没した 責を促進す	をする人材とし ^っ るとともに、日z	【、留子生か』 太人留学生を↑	₹安は任任とは 含めて、グロー	いいる。て -バル人材とし				
_	艮拠法 令									ける活用を図る			1 У С 1 Т С 1		* *************************************				
	開始年月		行政計画	! —															
<u> [</u>	事業概		٠,			A 1-0 1- 1	* 					~4.4.4	100124	ا ملت باطفوال	\ + # + = +				
٠		を対象として行うの ・既卒留学生 帰国						万策	を踏まれ、	目的達成に向	けてどのよ		八分ランナスのよ						
对会	笛子生	・成平笛子生 帰国 検討している海外の	した笛子王)学生		施		した有償の長期就	坐 休 駐	淦(インターンババ	プ) 車業			禾		おなまり 士士				
<i>></i>	日本人	大学生 市民 地元	:企業		内	福岡での就職を希	i望する留学生等を、	在留	資格の規制緩和	ロも活用して、留学生	採用を希望する	が地元企業に派							
	対象を	どのような状態にし	たいのか		——— 容	〇「福岡市国際財団	コ際財団奨学金」による優秀な留学生への支援 動画を活用した福岡へ留学を希望する外国人への紹介 育成と活用・定着を促進する産学官連携の枠組み「グローバルコミュニティFUKUOKA推進プラット 活用した情報提供 大学、県などと構成する「福岡県留学生サポートセンター」における海外リクルート活動や就職支援の 断続続する。												
	留学生	をグローバル人材と	して育成し	活用・定着を何	足進す	〇留学生の育成と流													
争	るととも	とのような状態にした。をグローバル人材として、福岡ゆかりのクな大を図り、「グロー していくことで、都市 登場1 都市問語争	ブローバル人	材のネットワー	クの 業	〇経済界、大学、県													
目	強化・技	広大を図り、「グロー	バル人材が	集い・活躍する	stち」 手 Nて優 段	実施 ○スタートアップ奨賞													
的	を日拍 位性を	発揮し、都市間競争	としての国際	R 脱事 刀にあい ていく。	でで	日本人大学生の海	毎外留学と地元での創	創業・	就職の実現に向	可けた支援を実施した	•		準						
		2014-01 HI-11-12001	11 2 12 2										\leq						
[c	ジック	アモデル・指標のヨ										-4							
		①活動アウド				結果アウトプット	047		12	3中間79		247		④最終アウトカム					
	留学促	(どんな活動を行 進セミナー等に参画し、福			結果、どうなる 海外の学生が福岡	•	h		の結果、対象は 就職する留学生										
	みを実施			市に	留学する留学生が	が増加する。 この理解と協力を得	⊒こわ Z	Ш	地域での	留学生の人材活	用を行うこ	とができる。	するまち」とな		75 木矿 石座				
	•留学生	等を対象とした地元企業・		/ップ事 既	卒留学生等が、イ	ンターンシップ事業	により、自分の		・本市留字	経験者が、福岡i 三貢献する。	市に愛着を				態になったら事業を見直のかりでの定着が進み、また、のグローバル人材のネットや中で強化・拡大され、福ーバル人材が集い・活躍はることを目指して事業をもしてどうなるのかりーバル人材が集い・活躍にて、グローバル人材のでいる。「ローバル人材のでいる。「ローバル人材のでいる。」「ローバル人材のでいる。				
	業を実施 ・本市留	īする。 学経験者を含む留学生と	のネットワークホ		·ル・志望に合った に就職することが	地元企業と出会い できる。	、双方の合意を	ľ	·日本人大	学生がグローバ	ル人材とし [.]	て福岡市で	育成に取り組 ・福岡ゆかりの		中で強化・拡大され、福一バル人材が集い・活躍ることを目指して事業を 「としてどうなるのか) ーバル人材が集い・活躍でいる。 ローバル人材のでいる。 ローバル人材ネットワーがっている。 目標 R7年度 最終年度 R6年度 8,000				
	ロナーナヴェの阿ヴナルルナス					ネットワークにより	、交流活動が活	Ι.	就職または	創業する。		,		広がっている。	のか。 での定着が進み、また、 グローバル人材のネット 中で強化・拡大され、福ーバル人材が集い・活躍・ 一、ボル人材が集い・活躍・ 1、				
ジ	·日本人大					トに留学し、グロー	バル人材として								での定着が進み、また、 での定着が進み、また、 ブローバル人材のネット Pで強化・拡大され、福 バル人材が集い・活躍 ることを目指して事業を をしてどうなるのか) バル人材が集い・活躍 いる。 に、グローバル人材の いる。 ローバル人材ネットワー つっている。 目標 で作度 R6年度 8,000				
ック				育 月	される。 														
モデ	×.	指標の内容 ②結果アウトプットに対応した		実	績	目	標	成		での内容 トカムに対応した指		実	績	E	標				
テル		指標を設定	年度	R5年度	R6年度	R7年度	最終年度	果の	標	を設定	年度	R5年度	R6年度	R7年度	最終年度				
		岡市内の大学・短大	目標	4,353	_		R5年度	指		の在留資格を	目標	_	_		R6年度				
		生籍する留学生数(名		3,633	3,770	_	4,353			人の数(各年9	実績	8,846	10,994	_	8 000				
	指標	5月1日時点) 	達成率	83.5%	_			ĸ	月末時点)	達成率	_			,				
	標		目標				R 年度	P			目標				R 年度				
			実績					I			実績								
			達成率					\smile			達成率								
				計画(政策推進			- Net					事業費(千円)							
1	事業区分		重点		ガ目的の在留: 6目標値:8,000	資格をもつ外国 ルト)	国人の数			令和6年度決		.額)							
拼	・ 策コー	· ド 	8-5-1	 策	о д ју је . 0,000	,,,,				歳出									
				成						歳特定									
分	野別目									入 一般				7,134					
	施策	グローバル人材の		標						前年度決算額			1 5	_					
	事業群グローバル人材の育成・集積									年度		R5		15.447					
_	行政運営プラン									歳出		11,7		15,117					
_	以組方針								-	歳特定		3,8		3,840					
Ŧ	性進現	進項目 —								八 一般	財源	7,8	889	11,277					

						事業マネジ	メントシー	<u>- - </u>	(令和6年度実施	分)				
	事業	国際貢献・国際	協力の推進	(国際視察•研	修受入事業)				めた理由(きっかけ)は何				14	
						1 <i>10/2 1. 1-1</i>	— 事業 — 背 _{化かり}	を見ばのな	開始した当時のアジア各国 様々な都市問題が起きて	川は、都市カ ハる状況で	が成長する過 ぶあった その	程において、環 ょうか由 太市	境汚染、水不では ずミ・晋1	足、少子高齢 音問題 水不
	所管			所管課	国際部国	際政策課	—— 景 足等(- の の課	題解決を続けていたことが	いら、本市の	の先進的なノ	さいなー、年間 ウハウや経験を	アジア地域の	諸問題の解
		法令 — — — — — — — — — — — — — — — — — — —	◇二元左元上 で				決に	貢献	したいと考えたもの。					
		年度 平成21年度	行政計	쁴 一										
L.		:概要】 「何)を対象として行うの:	٨,			 	55501±	- -			1°0 1.24	じのとうか	小小台(1一十二十	シェポナロ ま
ļ.,		デアの各国	/J'			〒和0年度、 方法で何を行		力す	を踏まえ、目的達成に向	けて土にる	とのような			ら事業を見直
 象		// // 										朱	さわり、各局に	よる個別の
					호	福岡市と福		研究	所(URC)と覚書を締結し	た上で、役	割分担を	規模要及	こより、事業目	的が達成で
	対象	象をどのような状態にして	たいのか		容			·。(<u>4</u>	≧額負担金事業)			直きる場合に	は、必要な見	し直しを行う。
-		本市の持っている知識や		, 自国の課題	解決	【<6年度の実		ノル	ス感染症の影響による源	かから同じ	復傾向が	し 判		
十二		吉びつけることができてし			業	見られ、案件	数•受入人数	ا#ع	こ前年度より増加した。			断		
目	〇fi ご ミ゙	研修を通じて、福岡市との ジネスに活かされている。	の繋がりが	生まれ、本市	事業や 段	1 10 10 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	い国からの受	.人!	向けて、広報の充実強化	を行った。	(国際視	断基		
的	07	アジア各国における福岡	。]市の知名原	度があがり、福		察・研修ガイト	・の多言語化	· 시 i	学の見但し寺)			準		
	~0	の来訪が増えている。												
<u></u>	ジ	ックモデル・指標の									•			
		①活動7ウトス				結果アウトプット	ω #)		③中間7		24.7		④最終アウトカム	
	· 広	くどんな活動を行 報先の掘り起こしを行う。	「ついか)	\		結果、どうなる 関係者が事業案		-	(その結果、対象に ・相談者と受入局(所管課)			・アジアの国々が	、市としてどう福岡市の知識や	
	ア	ジアの国々の関係者に事		う。	-ムページを通	して、本事業の存	存在を知る。	Ш	入れが決定する。			の課題解決に結び	ぶつけることがで	きる。
		内の関係機関等を通じて 『Cのホームページに研修』			ジアの国々から	SURCに研修の村	目談がある。		・研修を通じて、福岡市の矢 ・研修を通じて、福岡市の関			生まれ、本市事業		岡市との繋がりが かされる。
	• 受	入局(所管課)の情報を収	集し、国際・					17	れる。			・アジア各国にお 岡市への来訪がり		名度があがり、福
ロジ	修力	ゴイドの更新(見直し)を行う				1	・来福することで、福岡市の	自然や文化	比等を知る。	[E] [[] *00 / E] [[] 5	нис Фо			
ッ		 指標の内容			<u></u>		1m	成	指標の内容		 	 		1.435
ク モ		※②結果アウトプットに対応した	. <u></u>				標	果	※③中間アウトカムに対応した	左曲		と積 DC左座		標
モデ	 	指標を設定	年度	R5年度	R6年度	R7年度	最終年度	の	指標を設定	年度	R5年度	R6年度	R7年度	最終年度
ル	活動	URCで相談を	目標		F1.0	-	R 年度	指揮	視察研修受入人数	目標	1,700.0		1 700 0	R 年度
	の	受けた件数	実績	52.0	51.0	<u> </u>	_	標へ	(オンライン含む)	実績 達成率	544.0 32.0		1,700.0	_
	指標		目標	_	_	-	R 年度	K		 目標	32.0	42.070		R 年度
			実績			_	N T/X	- P	受講者の満足度	実績	92.29	91.4%	_	N T/X
			達成率			_			(大変満足+満足)	達成率	- 02.27			_
	<u> </u>			 計画(政策推述	#ポニヽ.ハ						車業弗/エ四	\		
Η.			本 平	可圆(以水堆)	生ノフノ)				4 4 9 5 4 1		事業費(千円	,		
-	≠ ₩	マハ ヨ	F 上	1 担:	突₊研修증λ	人数(P/日 煙值	1.1 700 人 / 年	=)	る和な年展決	宮姑(日)1	女舌 /			
	事業		点	施	察•研修受入.	人数(R4目標値	[:1,700人/年	Ξ)	令和6年度決		額)		2.000	
が		主	Ē点 8-6-1	施策	察·研修受入。	人数(R4目標値	[:1,700人/年	Ξ)	歳出	l	額)		3,688	
	施策=	ュード <u>主</u> 再 —	8-6-1	施 第 成	察∙研修受入∠	人数(R4目標値	[∶1,700人/年	≣)	歳	財源	額)		0	
	施策= 野別	主	8-6-1 Pのモデル都市と	施 策 成 果 指	察·研修受入 <i>.</i>	人数(R4目標値	i:1,700人∕年	Ξ)	歳 特定入 一般	財源財源			3,688 0 3,688	
分	野別施	主 再 一 月 一 労 アジアの諸都市などへの	8-6-1 アのモデル都市と 国際貢献・国際協	施 策成 果 品力の推進	察·研修受入	人数(R4目標値	i:1,700人∕年	Ξ)	歳 株定 大 一般 前年度決算額	財源 財源 一	5 算額		3,688	
分	施策= 野別	主 再 一 月 一 労 アジアの諸都市などへの	8-6-1 アのモデル都市と 国際貢献・国際協	施 策 成果 計 动の推進 力の推進		人数(R4目標値	:1,700人 <i>/</i> 年	Ξ)	歳 歳 特定 入 一般 前年度決算額 年度	財源財源	5算額 R5	R	0 3,688 7	
分	野別 施事業	主 再 一 川目標 国際競争力を有し、アジブ策 アジアの諸都市などへのと呼ばれるという。 と群 ビジネス展開に向けた国	8-6-1 アのモデル都市と 国際貢献・国際協	施 策成 果 品力の推進		人数(R4目標値	:1,700人 <i>/</i> 年	Ξ)	歳 特定 一般 前年度決算額 年度	財源財源	5算額 R5	,755	3,688	
分	野別施事業	主 再 一 月 一 労 アジアの諸都市などへの	8-6-1 アのモデル都市と 国際貢献・国際協	施 策 成果 計 动の推進 力の推進		人数(R4目標値	:1,700人 <i>/</i> 年	Ξ)	歳 歳 特定 入 一般 前年度決算額 年度	財源 財源 i·翌年度引 : :	5算額 R5		0 3,688 7	

					事務事	事業マネジ				6年度実施								
	事業名	在住外国人の生	活環境整備	事 業						きっかけ)は何		to o la # 18	ルナ	∠ 88 ± /√				
	听管局	総務企画局		元佐田	多文化共	 /- ==	── 国際1 ── 背 生活症	じい 考と	進展に伴い しての外国	1、仕任外国人 人が増加しては	.の生活情: おり、これき	報の収集・提 までの生活情	供を中心に事業 報の提供等に加	ξ開始。 □え、地域にお	ける外国人住			
	<u>听官同</u> !拠法令	秘伤正凹向		所管課	多义化共	生誄	— 景 民との	· 交	流を促進し	ていく必要があ	5る。		The second second					
	始年度 始年度	昭和61年度	行政計画	<u> </u>			\dashv											
	業概要		112478115	=														
		·▲ ·対象として行うのか) \			令和6年度。i	前年度の改善	方领	まを踏まえ.	目的達成に向	1けてどの,	ような方法	ょどのような	よ状態になった	:ら事業を見直			
		国人(生活者として				で何を行った		,,,			J., CC 43.6	X 2.073124			ラテスとルロ			
象	·地域住身 ·在住外	民 国人の支援者(日本	は語ボランラ	ティア等)	施内		しい日本語によ 映像通訳の一括			活ルール・マナ-	一紹介)		一福岡市の					
	対象をど	のような状態にした	-I \D\ta\			容 ・AI多言語音声翻訳アプリの導入									一の周知や地			
	○地域にお	ける外国人住民との交		、相互に理解して	いる。 事	事・音声による情報提供(ラジオ、ポッドキャスト(R2~)] * ・やさしい日本語の活用推進(市HP・SNS)									1理解の促進 ぶ必要であると			
事業	〇在住外国 ・日本の生活]人 活ルール・マナーや日本	の制度を理解	組っている。必要な	業										が安くめると			
目	アクセスでき	きている。生活に必要な	日本語を学び	、コミュニケーショ	情報に ンがで 段	〇日本語教育の推進												
	きている。 〇日本人(±	地域住民)					-における日本		智支援[東	準								
	・海外の多村	様な文化を理解し、外国	人とも隔たり	無く交流できている	6.	・オンフィンロ	本語教室の実	旭										
	ジックモ	Eデル・指標の词										•						
		①活動アウトプ(どんな活動を行	゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゙゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚			結果アウトプット 結果、どうなる	W47		(2	③中間7 の結果、対象に		741	(Z0#					
	• 生活情報	それる活動を行る 報や生活ルール・マ		情報提 📗 - 右		生活情報が	•	Ł		が相来、対象に が生活ルール								
	供		. , .,,,,,		ール・マナー		шС 、	М		ス゚エ゚゚゚゚゚ルッパ E活・文化に慣		٠, ١,	く活動しやす	いまちになる。				
		数室の開催。	しのかな士			日本語を学ん	ડ ેં.	Ш	•外国人	が日本語を習	習得し、日							
	・地場にも	おける外国人住民と	この父流文	拨	国人住民と	交流する。		17		ーションができ				 で流を通じた相互理解の促進機続した取組みが必要であるといる。 小る。 小る。 小る。 が進み、外国人にも住みやすずいまちになる。 も住みですいまちは、外国人で生の誘導、定着を下支えし、 性化につながる。 目標 R7年度 最終年度 ※次度回はR9年度の予定 一 R6年度 R6年度 				
ロジ	/							"	*外国人	住民との相互	理解かり	Ĕむ。	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	(全)最終7ウトカム (その結果、市としてどうなるのか) ・相互理解が進み、外国人にも住みやす く活動しやすいまちになる。 ・外国人にも住みやすいまちは、外国人 材及び留学生の誘導、定着を下支えし、 福岡市の活性化につながる。				
ツ		指標の内容		実	<u></u>		 標	成	- 培林	 票の内容				T F	目標			
クモ		も果アウトプットに対応した	年度	R5年度	№ R6年度		最終年度	果	※③中間7	ウトカムに対応した	年度	R5年度	R6年度	_	1			
チデ	活	指標を設定	目標	20	20	八十尺	R年度	- の +E	,	標を設定	目標	未調						
ル		こおける外国人住民 ・ 流支援した校区数	実績	11	15	20.0	N T/X			人の住みやす ちらかと言え	実績	※次回はF		一个训旦				
	の(事業	実施済のみ計上)	達成率	55.0%	75.0%	20.0	_			すい含む)	達成率	年度	99.7%					
	指 標		目標	4.000	4,000		R 年度	K			日捶	43.00			R6年度			
		催日本語教室の	実績	4,553	5,014	4,000.0	1,02	1 ۲	福岡市に	住んでいる外	実績	44,65	1 51,728.0	<u> </u>				
	遅へ5	受講者数	達成率	113.8%	125.4%		_		国人の数		達成率	103.8						
	_		基本	計画(政策推進	生プラン)						<u> </u>	事業費(千F	۹)					
4	業区分	重				住みやすさ評値	価(福岡市は「	住		————— 令和6年度決	算額(見辺							
			i–8–1			る在住外国人	の割合)			歳出		= H/\(\frac{1}{2}\)		39,906				
施	策コード	再 — —			4目標:67%、F 原岡市に住ん	代目標6/%) でいる外国人(の数				 !財源			1,553				
分!	野別目標		のモデル都市とな			、R6目標:45,0				~~ <u> </u>	対源			38,353				
75.	施策	アジアをはじめ世界の人に								前年度決算額		予算額						
	事業群 外国人にも住みやすく活動しやすいまちづくり(多文化共生の推進)									年度		R5		R7				
		行政運営プラン									~							
				行政運営プラ	シン				1	歳出	1	3	0,995	54,558				
取	7組方針	2ぬくもり 多様な	ニーズに客						1	歳出	:財源		0,995 1,195	54,558 5,338				